TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

異邦人を照らす啓示の光

ルカによる福音書 2:25-35

2022 年 12 月 24 日
余沢　武 牧師

I. はじめに

メリークリスマス！今日はクリスマスイブです。2000 年前に、クリスマスと呼ばれるこの日に起こったこと---　イエスという幼子が生まれたことについて振り返る日です。今日は、この日が何を意味しているのかを、シメオンという男性の話を見ていくことによって考えましょう。まずは、祈りましょう。

II. 異邦人を照らす啓示の光

（1）シメオン

ルカによる福音書 2:25-26 を読みましょう。

「[25] その時、エルサレムにシメオンと言う人がいた。この人は正しい人で信仰があつく、イスラエルの慰められるのを待ち望み、聖霊が彼にとどまっていた。[26] また、主が遣わすメシアを見るまでは死ぬことはない、とのお告げを聖霊から受けていた。」

聖書にはこのシメオンという男性について書かれています。多くの人は彼が預言者であったと信じています。聖書から分かることは、彼はイスラエル、神の民を愛する信仰があつい人だったということです。そして、彼は唯一、神の民のための最善だけを望んでいました。

誰かを純粋に愛している時、私たちはその人のための最善を思うものです。子供の頃、兄と妹と私はよく喧嘩をしました。その度に母は怒って私たちを叱り、しばしば私たちはしつけられました。

小学校 4 年生のとき、兄と姉と私の 3 人で大喧嘩をしたことがありました。母が来た時、私たちは皆叱られると思いました。ところが母は叱らず、その代わりに寝室に閉じこもり、一人で泣き始めたのです。

私たちはどうしたらいいか分かりませんでした。みんなで母の寝室の前に立ち、ドアをノックしながら「お母さん、ごめんなさい、もう喧嘩はしないからドアを開けて」と言いました。私たちは 15 分から 30 分くらいそれを続けました。まるで永遠のように長く感じました。そしてついに母が出てきました。

彼女は涙を流しながら「お互いを愛し合うことができないの？」と言いました。母は私たちを愛し、私たちの最善---私たちが愛にあふれる人間に育つこと---を望んでいました。それだけを母は願ってくれていました。

それはシメオンがイスラエル、自分の民、を愛した方法と同じです。彼らにとっての最善---神が望まれるような真の人生を生きる、ということだけを願っていました。そして神はシメオンに「イスラエルの慰め」を表すと約束されました、つまり、神が選ばれた王「メシア」を彼の民に与えるということでした。

（2）約束された幼子

27節-32節:

「[27]この人が霊に導かれて神殿の境内に入った。そして、両親が幼子イエスを連れて来て、その子のために律法の定めに従っていけにえを献げようとしたとき、[28]シメオンは幼子を腕に抱き、神をほめたたえて言った。[29]「主よ、今こそあなたはお言葉どおり この僕を安らかに去らせてくださいます。[30]私はこの目であなたの救いを見たからです。[31]これは万民の前に備えられた救いで [32]異邦人を照らす啓示の光 あなたの民イスラエルの栄光です。」

聖霊はシメオンが幼子イエスに会うために神殿まで導きました。シメオンは幼子を腕に抱いて言いました。イエスは「異邦人を照らす啓示の光」---神を知らない人の光となると。

人によって、神を知る機会は違います。
しかし一つ共通点があります。それは、イエスを求め続けるとその人の目が開かれ、光が差す時が来るということです。

私が30歳の時、聖書を読んでイエスのことをもっと知ろうと決意しました。読むにつれ、突然目が開かれました。ある質問が脳裏をよぎりました 「もし聖書に書かれているすべてが本当だったら？」

もし、本当に全てを創造しコントロールしている唯一の神がいるとしたら。その神は生きている神であり、私たちがその神を信頼して御言葉に従うなら、私たちの必要をすべて満たしてくださる。もし、これが私たちの生きるべき方法だとしたら。

自分にこのような質問をした時、自分の中の「そんなもの信じるな」という声も聞きました。しかし、私たちは一度目が開かれたら、開いたままです。閉じることはできません。シメオンは言います、イエスは「異邦人を照らす啓示の光」だと。イエスにあって、真実が見えるようになります。

（3）多くの人を倒したり立ち上がらせたりする

33節-35節:

「[33]父と母は、幼子についてこのように言われたことに驚いた。[34]シメオンは彼らを祝福し、母マリアに言った。「御覧なさい。この子は、イスラエルの多くの人を倒したり立ち上がらせたりするためにと定められ、また、反対を受けるしるしとして定められています。[35]剣があなたの魂さえも刺し貫くでしょう。多くの人の心の思いが現れるためです。」

そうです、イエスは、私たちを神が望まれる真の命を生きられるようにしてくれる、メシアです。しかし、同時に「多くの人を倒したり立ち上がらせたりする」方でもあります。それがクリスマスの謎であり、クリスマスのジレンマです。イエスは神の基準を私たちに示した時に言われました。

1)情欲を抱くこと、情欲を持って人を見ることは、姦淫を起こしたことと同じである。

2)誰かに腹を立てていることは、人を殺したことと同じである。

3)兄弟や誰に対しても、敵さえにも恨みを抱くことは悪である。

4)明日の心配をし、神を信頼しないことは悪である。

「倒される」人たちが出てきます。「それは意味が分からない、何故そんなことを信じないといけないんだ」と言う人がいるでしょう。

「立ち上がらされる」人たちも出てきます。「本当だ、それは悪だ」と言う人がいるでしょう。彼らはへりくだって、彼らの罪の罰を受けるために来られた幼子イエスを受け入れ、イエスの赦しと聖霊を受け、自分が変えられるように求めます。彼らはイエスの助けに頼ることを学ぶのです。

ある霊的な事実について説明します。

物理的な成長は、自立できるようになっていくことです。私たちはこの世で成長するにつれ、段々自立していきます。

クリスチャンとしての成長は、頼れるようになっていくことです。イエスにあって成長するにつれ、私たちはもっともっとイエスに頼れるようになります。

私は子供たちと、時々マーベルのスーパーヒーロー映画「アベンジャーズ」を一緒に見ることがありました。スパイダーマンとキャプテン・アメリカ、ハルクやアイアンマンが登場します。私は特にアイアンマンのことが気になっていました。

スパイダーマンとキャプテン・アメリカとハルクの遺伝的改変されたスーパー人間たちとは違い、人工心臓以外の点では、アイアンマンはただの「無力な人間」で、アイアンマンのスーツがくれる防御力と力に完全に頼らないといけません。しかし、それが彼の特別なところなのです。

まさにそれが、神が私たちに望まれるように真の命を生きる、ということです。私たちはただの「無力の人間」であり、イエスの保護と力に完全に頼る、ということを受け入れることなのです。

それがクリスマスです。イエスが来たからこそ、私たちは今、イエスの保護と力に完全に頼ること、神が望む人生を生きられるようになります。まだ「クリスマスの贈り物」であるイエスを受け入れていないのであれば、どうぞ今日受け入れてください。メリークリスマス！

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg5222jp

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

★クラス 201
クリスチャンとして成長する
1 月 22 日（日）13：00～17：00
https://t-b-c.us/classes

